

杉並区立高南中学校 年間指導計画・評価計画

美術(1学年) <年間45時間>

担当(菊山)

<教科の教育目標>

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2)造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3)美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

<評価の観点>

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

月	単元	時間	学習内容	観点(番号)	評価規準	評価方法
4月	・オリエンテーション	1	・小学校との違い、心構え、授業内容や評価方法を知る。	③	・日常生活、小学校の図画工作での造形活動を振り返るとともに、美術を学ぶ意味について自分なりに考える。 ・美術の学習は、表現や鑑賞を通して自分の思いを実現する力や、人や社会との関わり、よりよく生きる力を身に付けるものであることに気づこうとする。	授業観察 プリント学習
4～5月	・色との出会い(色彩の学習)	5	・色彩の基礎を学ぶ。 ・アクリルガッシュの正しい使い方を習得する。	① ② ③	・色彩についての基礎知識、効果や感情を理解する。 ・身の周りの色彩の美しさに気づき、その良さを感じ取る・アクリルガッシュの基礎技能、美術室でのマナーを身につける。 ・デザインの基礎である色彩に関心を持ち、色の性質や感情を理解しようとしている。 ・色彩と日常生活との関わりに興味を持つことができる。	制作活動観察 プリント学習 作品 定期考査
6～10月	・デザインの基礎を身につける(絵文字)	17	・身のまわりのデザインについて基礎的な知識を学習する。 ・レタリングの方法・基礎を学び、自身が選んだ文字の持つイメージを、目的に合った形や色を用いて表現する。	① ② ③	・明朝体とゴシック体の違いを理解し、文字のバランスを考えながら正しく書くことができる。 ・自身が選んだ文字の形や色の特徴を的確につかみ、対象から受けるイメージを、目的に合った形や色を用いて工夫して表現する。 ・情報を伝えるデザインに関心をもち、意欲的に表現する。 ・作品を鑑賞し合う中で、自分の作品の言語化を積極的にを行い、自分や友人の価値観や良さ、工夫したところを発見する。	制作活動観察 プリント学習 作品 発表 定期考査
10月	・美術のあゆみ(西洋美術史)	2	・美術史を学び、時代や文化の特徴、人間と美術のかかわりについて考える ・作品から受けた感想を言葉で表現する	① ② ③	・美術の歴史や文化の特徴に関心をもつ。 ・人々の思いの変化と表現のかかわりを見る。 ・美術史の時代区分と特徴を理解する。 ・作品を鑑賞して、自分や友人の感じ方を味わう。	授業観察 プリント学習 定期考査
10～11月	・見て描く楽しみ(鉛筆デッサン)	5	・身近なものを観察してデッサンし、素直に絵を描いてみる	① ② ③	・デッサン表現の技能を身につけ、観察した対象の特徴や質感などを理解し、捉えることができる。 ・身近なものを見つめ、感じ取ったことを大切にすること。 ・作品を鑑賞して、意図や工夫した点を見つける。 ・モチーフを積極的に観察し、自分の表現意図に応じて構図をとり、根気強く創造的に取り組んでいる。	制作活動観察 プリント学習 作品 定期考査
11～3月	・イメージに合わせて素材を生かす(仮面)	15	・粘土や和紙を使って、素材のもつ柔らかさを大切にしながら、工夫して表現する	① ② ③	・和紙や粘土の性質や特性を知り、素材に対して関心をもって制作に取り組もうとする。 ・形や色を工夫し、特徴を強調したりして表現することができる。 ・意図に応じて材料や用具を生かし、基礎的スキルを身に付ける。 ・作品を鑑賞して、自分や友人の感じ方を味わう。	制作活動観察 プリント学習 作品 発表 定期考査

杉並区立高南中学校 年間指導計画・評価計画

美術(2学年) <年間35時間>

担当(菊山)

<教科の教育目標>

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2)造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3)美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

<評価の観点>

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

月	単元	時間	学習内容	観点(番号)	評価規準	評価方法
4月	・見て描く楽しみ(鉛筆デッサン)	3	・自分が興味を持った身近なモチーフを観察し、鉛筆デッサンを行う。	① ② ③	・デッサン表現の技能を身につけ、観察した対象の特徴や質感などを理解し、捉えることができる。 ・物の見方の基礎を深め、描画道具の使い方の技能をより深く習得することができる。 ・モチーフを積極的に観察し、自分の表現意図に応じて構図をとり、根気強く創造的に取り組んでいる。 ・身近なものを見つめ、感じ取ったことを大切にしながら積極的にデッサン活動を行っている。	制作活動観察 プリント学習 作品 定期考査
5～6月	・構成デザイン(モバイル)	8	・色、形や構成の工夫で、美しい色面構成をする。 ・主題、材料から学習展開をイメージし、制作の手順や見通しを立て、形や色を全体と部分の関係でつかむ。 ・材料や用具を生かし、工夫して表現する。	① ② ③	・図法や技法を適切に用いて色彩効果を工夫しながら表現することができる。 ・スケッチから発見した形の美しさ・面白さをもとに美しい構成を考えることができる。 ・スケッチや構成への関心を高めながら、集中して制作に取り組むことができる。 ・自分や友人の作品のよさに気づき、それぞれの持ち味や、様々な表現方法を認め合うことができる。	制作活動観察 プリント学習 作品 定期考査
7月	・鑑賞との出会い(シュルレアリスム)	2	・シュルレアリスムの様々な絵画作品を鑑賞し、視野を広げられるようにする。 ・鑑賞をもとに、夢、想像や感情などの空想や心に広がる世界などを考えたり広げたりする。 ・鑑賞した作品からどのように感じ、どんな特徴があるかななどを言語化する。	① ② ③	・構図や色彩などが感情にもたらす効果や、具体物や抽象的な物の組み合わせなどを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 ・造形的な良さや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。 ・積極的に鑑賞し、作品から主体的に感じ方や見方などを言語化しようとしている。	授業観察 プリント学習 レポート 定期考査
7月	・さまざまな技法を学ぶ(モダンテクニック)	1	・表現意図に合わせて材料や表現方法を学ぶ。	① ② ③	・モダンテクニックについて理解を深める。 ・表現材料と効果、制作手順を理解する。 ・技法の特徴をもとに、自由に発想を広げる。	授業観察 プリント学習 定期考査
9～12月	・広がる空間をつくりだす(BOXアート)	14	・表現意図に合わせて材料や表現方法を工夫する。 ・遠近法を用いた美術作品を鑑賞し、奥行きの感じられる表現を作り出す。 ・表現手法の多様化について関心を深めるとともに、自らの表現へ効果的に生かす。 ・テーマに基づいたイメージを高め、形や色の美しさを、小さな空間の中に表現する。	① ② ③	・素材や用具、制作手順、表現方法の特性や効果・特徴を理解し、それらを効果的に活用することができる。 ・素材の特性を生かしながら、自分の表現方法を追求して自由に発想を広げ、創造的に表現している。 ・作品を鑑賞し合う中で、自分の作品の言語化を積極的にに行い、自分や友人の価値観や良さ、工夫したところを発見する。 ・積極的に素材を扱い、表現したい内容の技法・描画材や色を的確に選び、制作に対する工夫ができる。	制作活動観察 プリント学習 作品 発表 定期考査
1～3月	・伝統の美に学ぶ(水墨画)	7	・水墨画の特徴や技法を学び、多様な表現を味わい、独自の世界を表現する	① ② ③	・水墨画の表現技法を理解し、工夫して表現する。 ・墨の性質を生かした表現を構想する。 ・作品を鑑賞し合い、良さや工夫したところを発見する。 ・墨が作りだす効果や美しさに関心をもつ。	制作活動観察 プリント学習 作品 定期考査

杉並区立高南中学校 年間指導計画・評価計画

美術(3学年) <年間35時間>

担当(菊山)

<教科の教育目標>

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2)造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3)美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

<評価の観点>

①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

月	単元	時間	学習内容	観点(番号)	評価規準	評価方法
4月	・対話型グループ鑑賞	1	・フェルメールの「真珠の耳飾りの少女」をグループで鑑賞し、言語活動を行う。	① ② ③	・作品に対する発見や理解、愛情を深め、鑑賞の楽しさや魅力を味わい、創造への関心を高めようとしている。 ・主体的に作品を見つめ「見て・感じて・考えて・話し・聞く」に親しもうとしている。 ・言語活動を通してグループでイメージする意義や共有することの大切さを感じとり、他のグループのよさを発見している。	授業観察 プリント学習 定期考査
4月	・仏像に宿る心	2	・仏像や日本建築を学び、時代や文化の特徴、人間と美術のかかわりについて考える。 ・作品から受けた感想を言葉で表現する。	① ② ③	・美術史の時代区分、仏像の分類や特徴を理解し、美しさを感じ取る。 ・仏像彫刻のよさや美しさ、作者の意図と創造的な工夫、美術文化の継承と創造について考え、鑑賞している。 ・作品を鑑賞して、自分や友人の感じ方を味わう。 ・日本美術の歴史や文化の特徴、よさや美しさなどに関心をもち、意欲的に鑑賞に取り組む。	授業観察 プリント学習 レポート 定期考査
5～9月	・今を生きる私へ(自画像)	13	・さまざまな自画像を鑑賞し、自分を見つめ、創造的な工夫をしながら作品を制作する。	① ② ③	・表現技法を習得し、自分の作品へと活用している。 ・自己を深く見つめ、感じ取ったことや考えたことを基に主題を生み出している。 ・構図や顔の角度、表情やしぐさ、背景、色彩などに着目し、印象などをとらえ、描画材や用具の特性を生かして表す。 ・単純化や省略、強調、表現の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現の構想を練っている。 ・作品を鑑賞し合う中で、自分の作品の言語化を積極的にいき、自分や友人の価値観や良さ、工夫したところを発見する。 ・制作する順序や時間に考慮して、作品を完成させることができる。 ・心の中を見つめ、自画像で表すことに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。	制作活動観察 作品 プリント学習 発表 定期考査
10～1月	・伝統の美に学ぶ(篆刻)	14	・篆刻を学び、手で印を作り上げる良さに触れる。 ・自分の名前を用いて、自分を表現する	① ② ③	・篆刻の基礎知識を学び、理解する。目的に応じて用具を効果的に使い、表現する。 ・文字を用いて自分らしい表現を創意工夫し創造しようとする。 ・文字のレイアウトを考え 美しいデザインの構想を練る。 ・自分や友人の作品が美しく、かつねらい通りに表現できているか、良さや工夫したところを発見する。 ・使うことを考えたものをデザインすることに関心を持ち、意欲的に取り組む。	制作活動観察 作品 発表 プリント学習 定期考査
1～3月	・自分へ送る卒業記念品(Myダンブラー)	5	・自分らしさを見つめ、コラージュ等の表現技法を用いた世界に一つだけのダンブラーを作る。	① ② ③	・色の性質や配色・形成・構成美などの意図や効果をとらえ、材料や用具、技法の特性を生かし、見通しをもって表す。 ・3年間の思い出や未来への気持ちをイメージした色彩・形を生かし、構成・構想を練っている。 ・積極的に制作し、デザインを楽しみ、意欲的に取り組む。 ・制作を通じて、生活や身の周りにあるデザインに目を向け、人とデザインの関わりや特徴を知ることができる。	制作活動観察 作品 プリント学習 定期考査